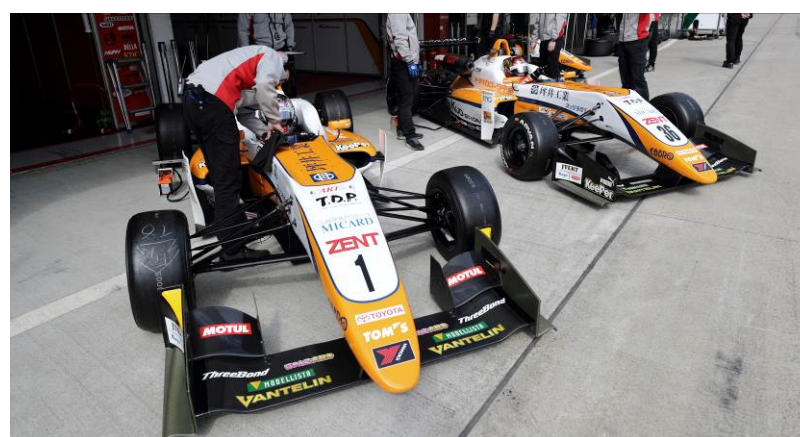


2017 全日本 F3 第 4 戦 第 5 戦  
 鈴鹿サーキット  
 2017 年 4 月 22 日

**予選** 観客: 21,000 人 天候: 曇り時々晴れ

2017 年全日本 F3 選手権シリーズは、鈴鹿サーキットで開催される今シーズン二つ目の大会、第 4 戦、第 5 戦を迎えた。金曜日までの練習走行で好調の二人のドライバー達は、ポールポジションを目指して予選に臨んだ。今回の予選も前大会の岡山と同じく 30 分間のワンセッション。ベストタイムで第 4 戦のグリッド、セカンドベストタイムによって第 5 戦のグリッドを決する。

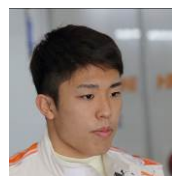


- 予選中に二回の赤旗中断があり、アタックのタイミングに影響が無いかが心配された。一回目の赤旗中断の原因は、なんと 36 号車宮田莉朋の車両にエンジントラブルが発生してマシンストップ。火災も発生してしまった。
- 坪井 翔は、その時点で一回目のアタックを終えており、トップのポジションにあった。赤旗中断の悪影響を被らずに済んでいた。
- 再開後の予選は僅か 4 分後に再び赤旗中断。残り時間約 5 分の最終アタックへと移った。セッション終了ぎりぎりまでトップポジションは奪われてしまい、坪井は 2 番手。セカンドタイムも 3 番手となってしまった。
- 宮田(莉朋)は、その後の予選を走行することはできなかったが、アクシデント前に 6 番手のタイムを出していた。しかし、火災のダメージはモノコックまで及んでおり、決勝出走を断念せざるを得なかった。

Drivers	Car No.	Qualifying for 4	Qualifying for 5
坪井 翔	1	P2 1:51.082	P3 1:51.502
宮田 莉朋	36	P6 1:52.006	1:13.891

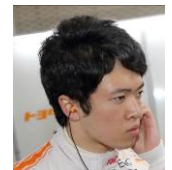
天候	曇り時々晴れ/ドライ	
気温/路面温度	気温 18-20 度 C	路面: 22-25 度 C

### 坪井 翔 (1 号車ドライバー)



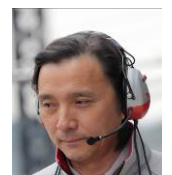
「ポールポジションを取れると思っていたので本当に悔しいです。今シーズンのマシンは空力が変わっていて、ダウンフォースが増しているの、アドバンテージがあった第 1 セクター、第 2 セクターの差がライバル達に対して無くなってしまっているのでもっと厳しい状況です。最後に逆転されたときは「くやられた！」という感じでした。何かミスしてしまっているわけでもなく、トラブルもあったわけではないので本当に厳しいです。しかし、決勝は、スタートで前に出られたら何とかかなと思います」

### 宮田 莉朋 (36 号車ドライバー)



「岡山以降、課題も分析して、鈴鹿に入ってから、決勝中のタイヤが摩耗してからの走行という課題も練習で克服できていたし、予選でも自信があったのでエンジントラブルはビックリでした。これまでのキャリアでもエンジントラブルでストップして火災という経験は無かったので残念です。走り続けられていたらポールポジションは取れたのではないかと考えていたので悔しいです」

### 山田 淳 (エンジニア)



「われわれトムスが得意としている鈴鹿の前半セクション、第 1、第 2 セクターのアドバンテージは無くなりましたね。これまでも第 3 セクターはライバルと五分五分か負けていたので、現状ではライバルと一線上にいるという状況です。ポールポジションを獲得した高星選手の最終のアタックは素晴らしかったですね。シャシーだけではなく、エンジンも良くなってきていることが分かります。宮田莉朋に起きたエンジントラブルは火災を引き起こしてしまってモノコックの一部を焼いてしまったので、これ以上の走行は無理と判断しました。決勝へは坪井 翔 1 台となってしまいます。スタートを決めて頑張ってもらいましょう」

### 関谷正徳



「状況はかなり厳しくなっています。ハードウェアでのアドバンテージは全く無い。シャシー、エンジン共に全く差はない。その中でポールポジションを獲得するためにはドライバー達に頑張ってもらえない。今回も獲得することはできなかった。特に宮田(莉朋)はエンジントラブルで本来のアタックの前にストップしてしまった。申し訳無いことをした。決勝は 1 台だけの出走という判断をした。坪井(翔)選手に頑張ってもらおう」



2017 全日本 F3 第 4 戦 第 5 戦  
 鈴鹿サーキット  
 2017 年 4 月 22-23 日

**決勝**

観客: 35,000 人 天候: 曇り時々晴れ/晴れ

鈴鹿サーキットにおいて全日本 F3 選手権シリーズ第 4 戦、第 5 戦が行われ、坪井 翔は第 4 戦で 3 位表彰台を獲得。第 5 戦では 4 位フィニッシュを果たすも、レース後のペナルティ裁定によって競技結果に 30 秒を加算されて 9 位となった。宮田 莉朋は、予選中に起きたエンジントラブルによる火災でモノコックを破損、その後の走行が不能となってしまい決勝は不出走となった。



- 第 4 戦、2 番手スタートだった坪井 翔 は、スタートを失敗。3 位に順位を落としてしまった。そのまま順位をキープし、ゴール表彰台の一角を占めた。
- 第 5 戦ではグリッド順位をキープして 1 コーナーに向かった。17 周レースの 5 周目にパスされて 4 位へ順位を落としてしまい、4 位でゴール。
- レース後、競技長によってスタート直後に他車をコース外に押し出してしまったと判定されてペナルティが科せられて 9 位という結果となった。

Drivers	Car No.	Round 4/ Fastest Lap	Round 5/ Fastest Lap
坪井 翔	1	P3 1:52.612	P9 1:52.842
宮田 莉朋	37	出走せず	出走せず

天候	曇り時々晴れ/ドライ	晴れ/ドライ
気温/路面温度	気温: 20-19/21-21 度C	路面: 32-30/41-35度C



**坪井 翔 (1 号車ドライバー)**

「ライバル達が一気に速さを増して来たということもあって、何か自分でもらしくない走りになってしまったと思います。スタートも前戦の岡山では第 2 戦まで良かったのにその後はどうしてか上手く行かなくなってしまっています。第 5 戦では他車を押し出す結果となってしまってペナルティを受けてしまいました。どうも歯車が噛み合わない今回の 2 戦でした。次戦では気分を一新して臨みたいと思います」

**宮田 莉朋 (37 号車ドライバー)**

「今回は、決勝に出られなくなってしまって残念です。しかし、気分を入れ替えて、これもライバル達のレースを外から見られるチャンスと思って両レースをピットでタイミングモニターや映像を見ながら自分なりにシミュレーションして、自分だったらどのようなレースをしようかなどと見守って居ました。自分の作戦に近い走行をしているドライバーも居て、それが分かったのは収穫です。次戦は優勝を目指して頑張ります。待ち遠しいです」

**山田 淳 (エンジニア)**

「鈴鹿に於けるわれわれのアドバンテージは、無いにも等しくなっています。現在、選手権の規定でトップ 2 のマシンの走行データが公開されて見られるのですが、思っていたおりのデータで同等の速さのセクターと、負けているセクターがハッキリ出ています。こちらが勝っているというセクターがほぼ無いという、とても厳しい状況です。その中で今回は翔(坪井)1 台で戦わなくてはならなかったというダブルで厳しいレースでした。次戦富士ではマシンのセッティングをこれまでのものから大きく変えてチャレンジする必要性が出てきました。そして莉朋(宮田)のマシンをできるだけ早く直して 2 台で頑張ります。莉朋(宮田)は、ライバルを分析できたみたいだし、今回走れなかった分、頑張ってもらいましょう」

**関谷正徳**

「翔(坪井)一人の闘いというだけではなくて、開幕戦よりもっと状況はわれわれにとって辛い厳しい状況です。ドライバーは頑張っています。その頑張りではどうしようもないハードウェアのパフォーマンスは、完全に劣勢と言えます。しかし、われわれは諦めずに闘います。チームとドライバー一丸となって次戦では好成績を目指します。」

